

第8回 全国的な学力調査の CBT 化検討ワーキンググループ

1 日時: 令和3年3月30日(火) 10:00~12:00

2 場所: Webex による Web 会議

3 議事:

(1) IRT(項目反応理論)について

- ・ 国立教育政策研究所国際研究・協力部 大塚尚子総括研究官より
- ・ 埼玉県教育委員会より

(2) CBT 化に向けた令和3年度試行・検証について(案)

4 配付資料:

- 資料1 IRT の概要と CBT 化への適用可能性
【柴山委員(東北大学大学院教育学研究科教授)ご説明資料】
- 資料2 OECD 生徒の学習到達度調査(PISA)における IRT 活用の状況・CBT 調査の実施方法について
【国立教育政策研究所国際研究・協力部 大塚尚子総括研究官ご発表資料】
- 資料3 埼玉県学調を中心とした学力向上施策の概要と CBT 化に向けた展開
【埼玉県教育委員会 ご発表資料】
- 資料4-1 全国学力・学習状況調査の CBT 化に向けた令和3年度試行・検証について(案)
- 資料4-2 学びの保障オンライン学習システム(MEXCBT)について
- 参考資料1 全国的な学力調査の CBT 化検討ワーキンググループ 中間まとめ
「論点整理」(抜粋) <今後さらに検討を行う主な論点>
- 参考資料2 第8回全国的な学力調査に関する専門家会議 ご発表資料
- (2-1) ・ 京都府における学力調査の活用について(京都府教育委員会発表資料)
 - (2-2) ・ 全国学調の活用状況と今後に向けた期待(戸田市教育委員会発表資料)
 - (2-3) ・ 全国学力・学習状況調査について(三浦教授発表資料)
 - (2-4) ・ 全国学力・学習状況調査の再編の方向性について(耳塚座長発表資料)